

小児喘息重症度分布と治療の経年推移に関する多機関調査

(日本小児アレルギー学会疫学委員会が主導の多機関共同調査研究)に関する研究

1. 研究の対象

2022年10月24日～2022年10月30日に高知大学医学部附属病院小児科外来受診(救急受診、オンライン診療、電話診療を含む)、及び入院中の気管支喘息患児。

2. 研究目的・方法

小児気管支喘息患者さんの実態の変遷を知ることに加え、2022年度のコロナウイルス感染症2019(COVID-19)による小児気管支喘息への影響を評価します。電子カルテより以下の情報を収集します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に利用する試料、情報等

試料：なし

情報：電子カルテ情報

年齢、外来・入院別、性別、症状のみによる重症度(見かけ上の重症度)、治療ステップ、喘息に対する長期管理薬の種類、喘息治療内容、過去12か月間における急性発作のステロイド投与の有無、重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2型(SARS-CoV-2)の感染の有無と重症度

4. 外部への試料・情報の提供

試料・情報を提供する方法：

研究のために取得した情報は研究特有のIDを付与し、日本小児アレルギー学会疫学委員会事務局に送付され、全症例を集積した後、埼玉医科大学病院小児科に送付となり、解析されます。解析されたデータは、同施設内の施錠可能な保管庫で研究終了後5年間保管され、その後完全に廃棄されます。ただし、本研究は長期にわたる経年変化を評価しているため、日本小児アレルギー学会疫学委員会により本研究から得られたデータが将来の研究のために必要であると判断された場合は保管期間が延長される可能性があります。

試料・情報の提供先：

日本小児アレルギー学会および埼玉医科大学病院

5. 研究組織

1) 研究代表者：埼玉医科大学病院小児科 准教授 板澤寿子

2) 小児アレルギー学会

疫学委員会委員長：楠 隆（滋賀県立小児保健医療センター小児科）

委員：板澤寿子（埼玉医科大学病院小児科）、

小児アレルギー学会理事長：吉原重美

委員：大矢幸弘（国立成育医療研究センターアレルギーセンター）

委員：今井孝成（昭和大学医学部小児科学講座）

委員：長尾みづほ（国立病院機構三重病院臨床研究部）

委員：平口雪子（大阪府済生会中津病院小児科、免疫・アレルギーセンター）

委員：吉田幸一（東京都立小児総合医療センターアレルギー科）

委員：二村昌樹（国立病院機構名古屋医療センター小児科）

委員：田中裕也（兵庫県立こども病院アレルギー科）

委員：宮本 学（獨協医科大学病院小児科）

委員：飯野 晃（なすのがはらクリニック小児科・アレルギー科）

委員：荒川浩一（社会福祉法人希望の家附属北関東アレルギー研究所）

3) 共同研究機関

- ・昭和大学病院
- ・国立成育医療研究センター
- ・東京都立小児総合医療センター
- ・獨協医科大学病院
- ・国立病院機構三重病院
- ・滋賀県立小児保健医療センター
- ・大阪府済生会中津病院
- ・兵庫県立こども病院
- ・国立病院機構名古屋医療センター
- ・なすのがはらクリニック
- ・社会福祉法人希望の家附属北関東アレルギー研究所

4) 調査協力施設（既存試料・情報の提供のみを行う機関）：

日本小児アレルギー学会代議員が所属する医療機関

高知大学医学部附属病院は調査協力施設に相当します。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

高知大学医学部小児思春期医学教室

088-880-2355

研究責任者：高知大学医学部小児思春期医学教室 大石 拓

研究代表者：埼玉医科大学病院 小児科

研究責任者： 板澤 寿子 電話：049-276-1218

-----以上